

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月31日

計画の名称	きれいな海は下水道から			交付対象	大船渡市															
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)																			
計画の目標	大船渡湾への汚水負荷低減と快適な生活環境のため下水道整備を行い、恵みの海を残していくことを目的とする。																			
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率を28.6%(H22)から37.4%(H26)に増加させる。 ②長寿命化計画策定進捗率を0.0%(H22)から100%(H26)にする。																			
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考													
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口/総人口(人)				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)														
				28.6%	33.0%	37.4%														
② 処理場の長寿命化計画の進捗率 長寿命化計画計画済み設備数/改修の必要な設備数(計画策定進捗率)				0.0%	100.0%	100.0%														
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,440百万円 1,799百万円	A	3,000百万円 1,616百万円	B	0百万円 0百万円	C	440百万円 183百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	12.8% 10.2%										
事後評価																				
○事後評価の実施体制、実施時期																				
事後評価の実施体制				事後評価の実施時期																
大船渡市公共下水道事業運営審議会にて事後評価を実施				平成29年2月																
				公表の方法																
				大船渡市ホームページにて公表																
1. 交付対象事業の進捗状況																				
交付対象事業																				
A 下水道																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
											H22	H23	H24	H25	H26					
大船渡処理区																				
7-A1-1-1	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	下船渡地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ150・450 L=11.0km 污水管φ150・450 L=1.8km A=11.2ha	大船渡市						876				
7-A1-1-2	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	赤崎北地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ150・400 L=7.4km 污水管φ150・400 L=5.7km A=34.3ha	大船渡市						266				
7-A1-1-3	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	赤崎南地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ150・250 L=13.5km 污水管φ150・250 L=0.3km A=4.6ha	大船渡市						697				
7-A1-1-4	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	盛地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ150・200 L=0.5km 污水管φ150・200 L=0.2km A=0.7ha	大船渡市						672				
7-A1-1-6	下水道	一般	大船渡市	直接	-	処理場	改築	大船渡浄化センター	長寿命化計画策定 長寿命化計画策定	大船渡市						315				
7-A1-1-7	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	猪川1地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ150・200 L=1.5km 污水管φ150・200 L=0.7km A=3.8ha	大船渡市						59				
7-A1-1-8	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	猪川2地区幹線・枝線(未普及対策)	污水管φ450・250 L=2.1km 污水管φ450・250 L=0.5km A=0.3ha	大船渡市						340				
																33				
																22				
																19				
																300				
																196				
																450				
																371				
																合計	3,000			
																1,616				

B 関連社会資本整備事業										事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H22	H23	H24	H25		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業										上段：計画					下段：実施	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)
											H22	H23	H24	H25	H26		
7-C1-1-1	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	下船渡地区幹線・枝線 (未普及対策)	A=15.6ha L=0.3km A= 1.6ha	大船渡市						105	
7-C1-1-2	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	赤崎北地区幹線・枝線 (未普及対策)	A=23.1ha L=1.8km A= 11.8ha	大船渡市						168	
7-C1-1-3	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	赤崎南地区幹線・枝線 (未普及対策)	A=3.5ha L=0.1km A= 0.5ha	大船渡市						47	
7-C1-1-4	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	猪川1地区幹線・枝線 (未普及対策)	A=4.5ha L=0.1km A= 0.4ha	大船渡市						80	
7-C1-1-5	下水道	一般	大船渡市	直接	-	污水管	新設	猪川2地区幹線・枝線 (未普及対策)	A=3.5ha 詳細設計	大船渡市						21	
																	40
																	1
																	440
																	183

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
7-C1-1-1	基幹事業である幹線 (7-C1-1-1) と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。														
7-C1-1-2	基幹事業である幹線 (7-C1-1-2) と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。														
7-C1-1-3	基幹事業である幹線 (7-C1-1-3) と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。														
7-C1-1-4	基幹事業である幹線 (7-C1-1-7) と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。														
7-C1-1-5	基幹事業である幹線 (7-C1-1-8) と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の被災により、人口密集地の整備人口が流出したことで平成23年度の普及率は24.7%に下がったが、災害復旧事業もほぼ完了となり、その後の整備促進により、平成26年度の普及率は26.8%まで回復することができた。 平成25年度より大船渡浄化センターを対象として、設備の長寿命化対策の検討を実施し、平成26年度に長寿命化計画を策定した。平成27年度より本計画に基づく、計画的な改築更新を実施することにより、施設の延命化が図られ、ライフサイクルコスト最小化を図ることが出来る。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	37.4%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成22年度に発生した東日本大震災の被災により、目標に向けての事業の進捗が図られなかったため。
		最終実績値	26.8%		
	指標② (処理場 の長寿命化計画 の進捗率)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		計画どおり目標値を達成した。			

3. 特記事項 (今後の方針等)

・引続き各事業を進めることにより、快適な生活環境を創造する。